

## 出品リスト

<p><b>古着のポートレート</b> Portrait of Second-hand Clothes</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>古着のポートレート No.2</b> Portrait of Second-hand Clothes No.2 1994 115×115 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>古着のポートレート No.7</b> Portrait of Second-hand Clothes No.7 1994 115×115 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>古着のポートレート No.8</b> Portrait of Second-hand Clothes No.8 1994 115×115 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>古着のポートレート No.13</b> Portrait of Second-hand Clothes No.13 1994 115×115 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>古着のポートレート No.29</b> Portrait of Second-hand Clothes No.29 1995 115×115 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>古着のポートレート No.31</b> Portrait of Second-hand Clothes No.31 1996 115×115 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>古着のポートレート No.42</b> Portrait of Second-hand Clothes No.42 1997 115×115 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>古着のポートレート No.46</b> Portrait of Second-hand Clothes No.46 1997 115×115 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>古着のポートレート No.48</b> Portrait of Second-hand Clothes No.48 1997 115×115 個人蔵 Private Collection</li></ol>

<p><b>真珠のつくり方</b> How to Make a Pearl</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>真珠の作り方 No.23</b> How to make a pearl No.23 2000 210×150 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>真珠の作り方 No.32</b> How to make a pearl No.32 2000 210×150 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>真珠の作り方 No.34</b> How to make a pearl No.34 2000 210×150 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li></ol>

<p><b>12 Speed</b></p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>12 Speed—CO No. 2</b> 2008 124×173 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>12 Speed—CO No. 6</b> 2008 124×173 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>12 Speed—CO No. 8</b> 2008 124×173 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>12 Speed—CO No. 12</b> 2008 124×173 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>12 Speed—BW No.2</b> 2008 124×171 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>12 Speed—BW No. 5</b> 2008 124×171 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>12 Speed—BW No. 7</b> 2008 124×171 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>12 Speed—BW No. 10</b> 2008 124×171 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li></ol>

<p><b>Roma—Roma</b></p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>Roma-Roma No. 1</b> 2004 37×49 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>Roma-Roma No. 27</b> 2004 37×49 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>Roma-Roma No. 28</b> 2004 37×49 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Roma-Roma No. 50</b> 2004 37×49 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>Roma-Roma No. 55</b> 2004 37×49 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Roma-Roma No. 61</b> 2004 37×49 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>Roma-Roma No. 73</b> 2004 37×49 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Roma-Roma No. 81</b> 2004 37×49 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>Roma-Roma No. 85</b> 2004 37×49 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>Roma-Roma No. 88</b> 2004 37×49 個人蔵 Private Collection</li></ol>

<p>展覧会関連書籍「<b>オノデラユキ</b>」 B5判変形、総ページ216ページ 本体：2,667円＋税 企画・監修：東京都写真美術館 発行：淡交社</p>
--

<p><b>11番目の指</b> Eleventh Finger</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>11番目の指 No.1</b> Eleventh Finger No. 1 2006 155×101 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.2</b> Eleventh Finger No. 2 2006 178×123 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.3</b> Eleventh Finger No. 3 2006 150×101 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.4</b> Eleventh Finger No. 4 2006 182×114 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.5</b> Eleventh Finger No. 5 2006 64×63 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.6</b> Eleventh Finger No. 6 2006 156×106 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.8</b> Eleventh Finger No. 8 2007 74×64 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.9</b> Eleventh Finger No. 9 2008 96×81 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>11番目の指 No.10</b> Eleventh Finger No. 10 2010 84×74 個人蔵 Private Collection</li></ol>

<p><b>窓の外を見よ</b> Look Out the Window</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>窓の外を見よ No. 2</b> Look out the window No.2 2000 60×50 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>窓の外を見よ No. 3</b> Look out the window No.3 2000 60×50 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>窓の外を見よ No. 8</b> Look out the window No.8 2000 60×50 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>窓の外を見よ No. 9</b> Look out the window No.9 2000 60×50 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>窓の外を見よ No. 20</b> Look out the window No.20 2000 60×50 個人蔵 Private Collection</li></ol>

<p><b>Transvest</b>（トランスヴェスト）</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>Transvest—Robert</b> 2002 194×128 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Transvest—Wyan</b> 2005 199×128 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Transvest—Judie</b> 2005 195×128 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Transvest—Rosa</b> 2009 193×128 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li> <li><b>Transvest—Wat</b> 2009 200×128 東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography</li></ol>

<p><b>オルフェウスの方へ</b> Below Orpheus</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>オルフェウスの方へ I、失踪者の後を追って No.1</b> Below Orpheus—The Missing Person No. 1 2006 147×120 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>オルフェウスの方へ II、不思議な距離 No.1</b> Below Orpheus—Strange Distance No.1 2006 43×43 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>オルフェウスの方へ I、失踪者の後を追って No.2</b> Below Orpheus—The Missing Person No. 2 2006 147×120 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>オルフェウスの方へ II、不思議な距離 No.2</b> Below Orpheus—Strange Distance No.2 2006 43×43 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>オルフェウスの方へ I、失踪者の後を追って No.3</b> Below Orpheus—The Missing Person No. 3 2006 147×120 ツァイト・フォト・サロン ZEIT-FOTO SALON</li> <li><b>オルフェウスの方へ II、不思議な距離 No.3</b> Below Orpheus—Strange Distance No.3 2006 43×43 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>オルフェウスの方へ I、失踪者の後を追って No.4</b> Below Orpheus—The Missing Person No. 4 2006 147×120 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>オルフェウスの方へ II、不思議な距離 No.5</b> Below Orpheus—Strange Distance No.5 2006 43×43 個人蔵 Private Collection</li></ol>

<p><b>Annular Eclipse</b>（アニューラ・エクリプス）</p>
<ol style="list-style-type: none"><li><b>Annular Eclipse—Bear</b> 2007 239×152 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Annular Eclipse—Cock</b> 2007 233×152 個人蔵 Private Collection</li> <li><b>Annular Eclipse—Horse</b> 2007 244×152 個人蔵 Private Collection</li></ol>

# Onodera Yuki

## INTO THE LABYRINTH OF PHOTOGRAPHY オノデラユキ 写真の迷宮へ

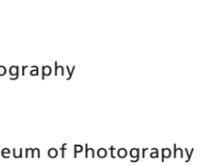
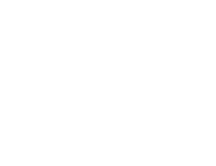
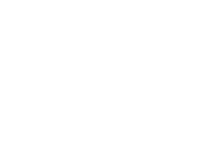
ラビリンス

東京都写真美術館「オノデラユキ 写真の迷宮へ」展覧会

<p><b>略歴</b></p>
1962年 東京生まれ
1991年 第1回写真新世紀 優秀賞
1993年 渡仏（以後パリ在住）
1996年 第21回コダック写真批評家賞 審査員特別賞（フランス）
2001年 第17回東川賞 新人賞
2002年 日本写真協会新人賞
2003年 第28回木村伊兵衛写真賞
2005年 国立国際美術館で回顧展開催
2006年 ニエブス賞（フランス） 上海美術館で個展開催

<p><b>パブリック・コレクション</b></p>
国立近代美術館・ボンピドゥーセンター、パリ市立現代美術機構、フランス国立現代美術機構、フランス国立図書館、ゲラン財団、ヒューストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、ハイス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム）、上海美術館、三影堂アートセンター（北京）、ソウル写真美術館、東京都写真美術館、栃木県立美術館、群馬県立近代美術館、国立国際美術館 その他

<p><b>オノデラユキ 写真の迷宮へ</b> ONODERA YUKI Into the Labyrinth of Photography</p>
<p><b>2010年7月27日（火）～9月26日（日）</b> <b>東京都写真美術館</b> Tokyo Metropolitan Museum of Photography</p>
<p>主催：東京都 東京都写真美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会 特別協賛：キャノン株式会社 協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷</p>



## 作品解説（展示順）

### 古着のポートレート

### Portrait of Second-hand Clothes

1994-1997

115×115cm

ゼラチン・シルバー・プリント、バライタ紙

Gelatin silver print on fiber base paper



モンマルトルのアパルトマンから見える空を背景に、約50点の古着を撮影した初期の代表作品。古着は、クリスチャン・ボルタンスキーが1993年にパリで開催した個展「Dispersion（離散）」で展示されたもので、来館者は山積みされた古着を10フラン払って袋一杯持ち帰ることができた。オノデラは、ボルタンスキーが大量死の象徴とした古着を、一点ずつ窓辺に立たせることで、個としての存在に引き戻し、身体なきポートレートとして提示した。



カメラにビー玉を仕込み、日中の街頭で群衆を撮った作品。カメラの中でガラス玉が光を乱し、写真に影をつくり出すので、まるで暗闇に集う人々を白い球体が覆うような画面が生まれた。現実の風景を幻影と変貌させるガラス玉の効果によって、被写体と撮影者の間にあるカメラという暗箱の存在を意識させる。タイトルは、貝に異物を入れて真珠をつくる行為になぞらえている。また、現像時に薬品処理で写真の粒子を極限まで粗くすることによって、縦2メートルもの大型画面は、荒々しく変形した粒子がマチエールとなって、群衆の姿を暗闇から力強く浮かび上がらせる。

### 12 Speed

2008

124×171cm

ゼラチン・シルバー・プリント、

バライタ紙／インクジェット・プリント、バライタ紙

Gelatin silver print on fiber base paper/ Archival pigment print on fiber base paper



濃いピンク色の壁面と同色のテーブルの上に、ヘッドホンやスナック菓子の袋、コップの牛乳やピースで編んだ犬の人形など、若い女性の部屋を想起させるポップな小物が並ぶ。キッチュな要素で構成されているにもかかわらず、古典的な静物画を彷彿とさせるこのセットは、フォンテンプローの森の中心に設置された。それを示

すのは、中央に置かれた鏡に写り込む森の木々だけである。同じセットで鏡の向きを少しずつ変えながら連続撮影された12点の違いは、鏡の角度によってわずかに変化する「森の風景」のみである。一見同じ写真の繰り返しに見えるが、鏡はレーダーのように角度を変えながら、周囲の状況を伝えるシークエンスを形成する。壁面に描かれた落書きのような矢印と暗号めいた文字は「永劫」を意味する。



ローマという名をもつ2つの土地をステレオ・カメラで撮影した作品。最初に、2つのレンズの片方を塞いで（フィルムの感光を防ぐため）、スウェーデンのバルト海の島にあるローマの風景を108枚撮影したあと、フィルムを巻き戻し、今度は反対のレンズを塞いで、スペインにあるローマに移動してさらに108枚を写した。2点の組み合わせは撮影した時系列にそったもので、偶然にすぎない。写真も選ぶことをせず、撮影した108組のモノクロ写真すべてに油絵具で手彩色し、19世紀の観光ブームで量産された土産用写真を模倣した。「写真を撮るために移動するのではなく、移動するために写真を撮る」とオノデラが語るように、この作品では「移動」そのものがテーマである。

### 11番目の指

### Eleventh Finger

2006-2010

サイズはイメージで異なる（ex 175×120cm）

フォトグラム、ゼラチン・シルバー・プリント、

バライタ紙

Photogram and photography on gelatin

silver print, fiber base paper



人間が無意識にとる身体の動きに着目し、ノーファインダーで隠し撮りした作品。被写体の顔はレース模様のように穴が空けられた紙を使い、写真にフォトグラムの技法で白く抜かれている。顔を隠すことによって動作の意味を失った様子は滑稽でもあり、そこに肖像権にたいする問題意識を読み取ることもできる。顔の部分を覆う白い紙には、さまざまな具象や抽象的な模様が描かれ、その作家の手作業の痕跡が、粗い粒子の写真部分との鮮やかな対比を示す。タイトルの「11番目の指」は、10本が被写体の指であり、11本目は撮影者のシャッターを押す指をさしている。

### 窓の外を見よ

### Look Out the Window

2000

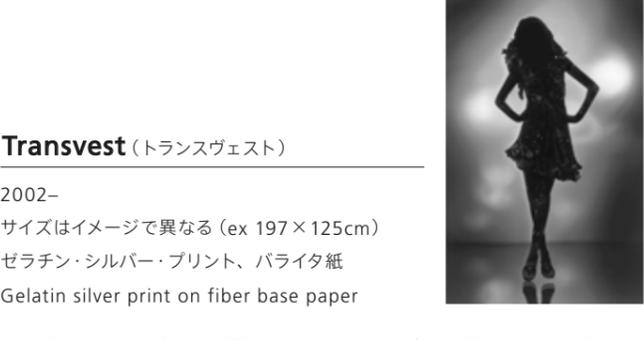
59×49cm

ゼラチン・シルバー・プリント、バライタ紙

Gelatin silver print on fiber base paper



暗黒の空間にぼつりと佇む小さな家。周囲の深い闇と窓からもれる明かりで、宙に浮かぶ光源のようにも、あるいはオモチャの家のようにも見える。東京の郊外で撮影されたこれらの家々は、ヨーロッパアンスタイルや、北欧スタイルなど時々の流行を反映しており、一世代で建て替えられてしまいそうな、オノデラの言う「命の短そうな家」として被写体選ばれた。また、暗室での巧みなマスクワークによって生まれた闇に浮かぶ光の箱は、「カメラ・オブスクラ（ラテン語で暗い部屋）」の反転であり、「カメラ」とは本来「部屋」の意味であることを喚起する。



### Transvest（トランスヴェスト）

2002-

サイズはイメージで異なる（ex 197×125cm）

ゼラチン・シルバー・プリント、バライタ紙

Gelatin silver print on fiber base paper

2002年に制作が始まり現在も続くシリーズ。実際の人物ではなく、新聞、雑誌などから切り抜いた人型に、既存イメージ（夜の街灯、顕微鏡写真、歴史遺産の風景など）の断片をフォトモンタージュで埋め込み、逆光に浮かぶさまざまな人間のシルエットを生み出した。《Krio》、《Rosa》などと名づけられた人影は、かるうじて判別できる程度まで暗く色調を落とした多種多様なイメージの集合体であり、そこには時間と空間を超越し、世界を内包する身体が表現されている。「Transvest」は異性の服装趣味を意味する。

### オルフェウスの方下へ

### Below Orpheus

2006

1. 失踪者の後を追って I. The Missing Person
144×117cm
ゼラチン・シルバー・プリント、バライタ紙
Gelatin silver print on fiber base paper

2. 不思議な距離 II. Strange Distance
43×39.5cm
ポラロイド Polaroid

ヨーロッパのあるホテルで起きた不可解な失踪事件の記事に端を発した作品。オノデラによって構築された虚と実が交錯するサイド

ストーリーが存在する。事件の2年半後、オノデラは同じ部屋に宿泊し、真相を追うべく行方不明になった人物に思いをはせる。オノデラの推理は、18世紀に記されたある島の伝説をヒントに、行方不明になった人物はこの部屋の真下、つまり地球の裏側に移動してしまったという奇想天外な結論に至る。その伝説とは、18世紀のイギリス船の航海日誌に、太平洋の島に住む先住民マオリ(Maōri)の長の口述として記されたもので、280年前の1726年に地下世界からきたという予言者が島に現れ、西洋人の来訪を島民に告げたという。その島が、現在のニュージーランド北島であり、ホテルから見れば12,700キロメートル真下にあたる偶然に気づいたオノデラは、その推理に従って、ホテルの天井の高さから床を見下ろすアングルで室内を撮影し（「1. 失踪者の後を追って」）、その後、ホテルのある「北緯40度25分51秒／西経3度42分28秒」地点から、「南緯40度25分51秒／東経176度17分32秒」地点にある島へと移動し、その場所の風景をポラロイドで撮影した（2.「不思議な距離」）。ポラロイドを貼った手漉きの台紙には、伝説が航海日誌に記録された18世紀当時の活字で緯度・経度を示す数字が印刷され、ホテルの室内を写した大判プリントには、その数字をフォトグラムの技法で焼き付けた。



### Annular Eclipse（アニューラ・エクリプス）

2007

サイズはイメージで異なる（ex 244×152cm）

シルクスクリーン Silkscreen print

上海美術館の「カメラがとらえた日本」展で発表された、初めての版画作品。制作は中国で行われ、巨大なシルクスクリーンを38版重ねて摺るため8人が手作業であたった。版画技法に挑戦した背景には、ポスト銀塩写真にあたる技法への問題意識がある。タイトルは英語で「金環日食」を意味しており、月の外側に太陽がはみ出してつくる細い光輪が、可視と不可視の間を意識させる。動物と人間の動きのある身体に、花火、ネオン、紙吹雪など祝祭的な要素を加えることで、同じシルエットを扱った静的なく(Transvest)との対比を生み出した。人と動物の対峙や、極端にねじ曲げられた身体は、人間と周囲の世界との関係性を暗喩している。

